

いわて未来研 会報・情報誌

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報 第 49 号(R4. 7. 29)

ご挨拶

会長 相原 正明



黒岩教授と(取材時)

酷暑の夏となっていますが、ノウゼンカズラ(写真下)が日に日に花の数を増やし、勢いや元気を与えてくれているようです。

お変わりありませんか。お元気でご活躍のことと存じます。

常日頃のご協力、ご支援に感謝申し上げます。年度前半の主要事業でもあります通常総会は、

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、皆様のご理解ご協力の下、基本的に書面表決の形(一部役員のみ会議出席)で実施し、講演会は実施しないことといたしました。

このような困難な時期ではありますが、今年度は、会報の年 4 回発行と講演会 1 回、意見交換会 1 回を着実に行って参る考えであります。

また、会員の皆様の投票により、会報の愛称が「みらい研」と決定しました(P15 参照)。第 50 号となる 10 月発行号から、会報兼情報誌として、より親しみやすく、レベルの高い内容となるよう力を尽くしてまいります。

会員皆様の益々のご高配・ご支援をお願いいたします。

いわて未来研



〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地

TEL 0197-35-2134 E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp

FAX 0197-35-2134 URL <http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp>

R4 通常総会

令和 4 年 6 月 18 日(土)、奥州市水沢地区センターにおいて、通常総会が開催されました。新型コロナウイルス対策として、大多数の正会員の方々から書面表決によって参加頂く中、会長、副会長(2)、理事(2)、監事(2)の 7 名の本人出席によって開かれました。

福田喜副会長が議長となり、4 つの議案の審議



を進め、全議案が可決されました。

さらに会報兼情報誌の愛称に関する投票結果が報告され、確認・承認されました。

このような異例の取り進めについて、改めて会員の皆様の皆様のご協力に感謝申し上げます。

お知らせ



会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R4. 7. 29 現在会員数

個人正会員(年会費
2 千円) 157 名
個人賛助会員(年会費
1 千円) 62 名
団体正会員(年会費
2 万円) 22 法人・事務所
団体賛助会員(年会費
1 万円) 2 法人
合計 243 名・法人

ご寄附御礼

前回会報(第 48 号)で報告した以降の状況。
金額 7 千円 (R4 年度寄附の累計 9 千円)

—寄附者ご芳名—

中山 知恵子 様 (4)
千田 幸雄 様 (2)
千田 敏彦 様 (1)

() 内は金額(千円)

お願いなど

ご提言募集

＊ 第 10 回目となる行政機関、政党等への政策・意見提言ですが、9 月末までさらに募集しますので、是非ご提言ください。



会費のご協力に感謝します。
未納の方はよろしくお願い致します。



通常総会 (R4. 6. 18) における書面議決等感谢你 !!

- 定足数要件(正会員総数の 2 分の 1 以上の出席)
正会員 179 名中、本人出席 7 名、出席とみなされる書面表決者 92 名、計 99 名の出席(正会員総数の 2 分の 1 である 90 名以上の数)となり、定足数を満たしました。
- 議決要件(出席した正会員の過半数の賛成)
4 議案全てについて、出席正会員全員が賛成し、可決・承認されました。



編集後記



岩手医大の小川理事長さんから「良医の養成こそが医療改革の礎」とのお話がありました。どんなに資源や仕組みが優れていようと最後は一人一人の資質に事の成否は委ねられるものようです。かの武田信玄公は「人は城、人は石垣、人は堀」と述べ、「人間こそが強固な守りとなる」との考えを示しました。郷土の偉人後藤新平も「金を残して死ぬ者は下、仕事を残して死ぬ者は中、人を残して死ぬ者は上」との言葉を残しています。

当いわて未来研の究極の目標は地域づくりであり、その基礎となる人づくりです。現世の人々のみならず、著述を通じて後世の人々にも響く発信を一層心掛けたいと思いました。(相原)

